

議事録

会議の名称	令和5年度第16回西東京市総合計画策定審議会
開催日時	令和5年7月26日（水曜日）午後2時から3時まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階庁議室
出席者	市川武志委員、伊藤一雄委員、伊藤泰彦委員、河野美晴委員、小松真弓委員、佐久間雄一委員、土井隆司委員、中島伸委員、松川紀代美委員（50音順） 事務局：柴原企画部部長、佐野企画部副参与兼企画政策課長、樽見企画部主幹、山田企画政策課課長補佐、広瀬企画政策課副主幹、八巻企画政策課主任、豊田企画政策課主事、鎌田企画政策課主事 欠席：篠原京子委員、佐々木亮翔委員、中嶋亮太委員
議題	議題1 開会 議題2 諮問事項に対する協議検討 （1）西東京市第3次基本構想・基本計画案について ・パブリックコメント回答案について 議題3 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市第3次基本構想・基本計画案【答申用】 資料2 「西東京市第3次基本構想・基本計画案 中間のまとめ」パブリックコメント回答案 資料3 中間のまとめからの変更箇所① 資料4 中間のまとめからの変更箇所②
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>議題1 開会</u> 会長より開会の挨拶</p> <p><u>議題2 諮問事項に対する協議検討</u> （1）西東京市第3次基本構想・基本計画案【答申用】について 事務局から資料1、資料2、資料3、資料4に沿って説明</p> <p>○会長 パブリックコメントの回答に関して、関連する各部署と、個別事業の状況を確認してまとめていただいていると思う。また、資料4は、前回の審議会で委員の皆様にご意見を伺った箇所でもある。改めて、資料2、資料3、資料4で気づいた点があれば、ご意見をい</p>	

ただきたい。

○委員

資料3の1ページ、No. 2について、「自治体」ではなく、「自治会」ではないか。

○事務局

修正する。

○委員

資料1の42～43ページはカラーにした方が分かりやすいのではないか。

○事務局

最終的にはカラーになる予定である。

○委員

資料4の3段落目では「行政をはじめ～」と追加しているが、他に該当箇所はないか。ある場合、修正は行われているか。

○事務局

第2次総合計画策定時から、「みんなでつくるまちづくり」を進めてきており、市民、市民団体、行政という順番としている。今回は、「共助のイメージが先行する」というご意見があったため、基本理念の部分は、行政を先にして記述している。

○委員

資料1の39ページ、「成果指標の達成度」の「市内事業所数」について、目標値よりもかなり多いが、この数字の根拠はどのようなものか。数字だけを見ると、「こんなに事業所は増えたのか」と見てしまう人もいるのではないか。

○事務局

数字は経済センサスの速報値を採用しているが、データが更新されていれば、より精緻なものに修正する。

○委員

資料1の29ページ、「(2) 財政フレームについて、これから内容が記載されるということか。パブリックコメントでも、財政のことを示してもらわないと意見が言えないというものがあった。市はこれからどこにお金をかけていくのか、気になることなので示しても

らいたい。中間のまとめの範囲ではないのか。

○事務局

例えば、57ページの右下の【主要事務事業】は現在調整中となっている。これは予算との紐づけが必要なためであり、秋頃から実施する予算編成の中で取組内容などを整理し、示す予定である。中間のまとめについては基本構想や考え方の方向性を示すものである。

○委員

資料2の回答欄について、複数の箇所で、「延べ約4,000名以上の市民の方に関わっていただいております。」と書いてある。この人数は市民全体の2%程度だが、これは市民の意見をよく聞いたと言ってよい数字なのか。市民参加の機会を知らなかったという声も聞く。10年後の計画策定時は、より多くの人から意見を聞いた方がよいのでは、ということをごどこかに示すべきではないか。

○会長

今回の計画には、基本理念の「わたしたちの望み」という言葉や、「自分ごと」という言葉が使われている。これはこれまでに様々な市民参加の機会が設けられていたということが前提にあるためである。

4,000人の中には審議会やワークショップ、シンポジウムといったものを通して積極的に関わっていただいた方が中心にいて、その他に、気軽に行ける説明会などに参加してくれた方、課題意識を持ってパブリックコメントを送ってくれた方がいる。さらに、参加の主体性はないが、無作為抽出でアンケートに回答してくれた方もいる。

このように、策定に関わった4,000人の市民の内訳を示すことで、市民参加の機会が多くあったことや、主体的に参加した市民の割合が多かったことを伝える事ができるのではないかと考えているが、それは可能か。

○事務局

既に、資料1の41ページ及び44ページに示しており、その参加者数を合わせて4,000人程度としている。

○委員

商業施設での報告を兼ねたパネル展示では来場者のカウントはしていないが、多くの人の目に触れる場は設けた。4,000人という数に注目するだけでなく、そういった点も示すとよいのではないか。

○事務局

検討していきたい。

○委員

シンポジウムのチラシを写真などで載せることができれば、当日参加できなかった人にも、「このチラシを見た」と思い出してもらうことができ、市民参加の場があったことを示せるのではないか。

○委員

シンポジウムはYouTubeでの配信もあった。色々な方の目に留まるような努力はしてきたと認識している。

○事務局

今まで受け取れていなかった意見をお聞きしたいという想いがあり、普段イベント等に参加されない方の意見を聞くため、アウトリーチによるアンケートを4か所ほど行った。前回の計画策定時と比べて、市民の意見を聞く方法、回数、人数は増やしてきた。また、市によってアンケートの規模は異なるが、今回は他市と比べても多いと考えている。

○委員

4,000人というのは、母集団20万人に対する調査として統計学的意味はあると思う。

○会長

市民に声を聞く機会は多くあった。20万人のうちの4,000人だと、50人に1人聞いたということ。50人のうちの1人に意見を聞いた際、その他の49人の意見とのギャップを埋められるものが必要だが、資料4の内容はこれに当てはまると思う。

ただ、市民の意見をよく聞いたと言ってよいのかという委員の意見を受け止めるならば、「わたしたち」という言葉に関して、「この総合計画は行政だけのものではなく、市民も含めた『わたしたち』という位置づけで策定しています」というような説明をどこかに示すとよいのではないか。ここまで色々な機会を設けてきたことは、行政のためだけではないということを示すべきである。

例えば、資料1の2ページ、下から2段落目に「～多くの市民が関わり一緒に作り上げてきました。」とあるが、「その上で、この基本構想においては、市民の声を含めた『わたしたち』として策定しました。」と書くことはできないか。

○委員

パブリックコメントの意見に第2次総合計画の反省がないのではないかというような

記述があった。実際は計画案の中によく書いてあるが、それが伝わっていないのだと感じた。また、市のことを分かっている人が本当に考えているのかというような記述もあった。

これらを考慮すると、資料1の2ページの箇所に、これからの課題を挙げた上で、それを踏まえて第3次総合計画を策定したことと、市民の方とこれからこういうまちをつかっていきたいという想いが盛り込まれた方が、伝わりやすくなると思う。

今のままだもしっかりとまとまっている文章なので、このままだでもよいのではないかという想いもあるが、これだけでは伝わらない人がいるという事実もある。

○委員

その部分を膨らませて、セクションとして2つに分けるのがよいのではないか。

強調させないとさらっと読んでしまうので、ただ文章を追加しても、行数だけ増えて同じことを2回言っているようになってしまう。

○委員

資料1の4ページは、「わたしたち」が強く出てくるところである。1段落目の最後のところで、「～わたしたちのまちづくりへの想いです」の後に、「わたしたち」とは何を示しているのかを説明するのはどうか。

例えば、「ここでの『わたしたち』とは、行政だけではなく、市民を含めた『わたしたち』であり、この総合計画の策定を考えてきた『わたしたち』ではあるけれども、この総合計画の存在を知らなかった市民を含めた『わたしたち』である」というように、自分ごとと言われたときに違和感があるという人達も含めた「わたしたち」であるということを示したらよいのではないか。

「わたしたち」とは、第3次総合計画の読み手であり、「今回は策定に関わることができなかった人も含めた『わたしたち』で西東京市のまちづくりについて、以下のように考えていきたい」というメッセージが伝わってほしい。

○会長

資料1の4ページ、1段落目の最初に「第1次及び第2次基本構想では～」という文に続くところで、「その基本構想を継承し」という言葉があると、「これまでの振り返りがないのではないか」という意見に対応できるのではないか。

○事務局

ご意見については今後整理する。また、「継承」という言葉については、2段落目で『やさしさ』や『ふれあい』を継承しつつ」と表現することで、今までの計画を踏まえているという想いを表している。

○会長

それならば、第1段落には「継承」という言葉は入れない方がよい。委員のご提案にあった、「今回の策定に関わっていない人」というのは「今後10年で移り住んでくる人」も含めてということでよいか。

○委員

その通りである。

○委員

市長がシンポジウムに参加し、市民と膝を突き合わせて話していたことがよいと感じていた。市長も実際にそのような場に参加していたことをどこかで示してほしい。前向きと一緒にやっていこうという想いが伝わるのではないか。

○事務局

ご意見として、今後整理する。

○会長

市長は様々なところに参加されていたのが印象的であった。

○委員

先ほどの提案について、市長自身が市民のみんなと一緒に作り上げていきたいという想いを強調するとよいと思う。そうすることで、「自助・共助・公助」の表現についても、これはみんなで取り組みたいから、「自、共、公」で表しているのだと伝えることができる。また、「市民一人ひとりと一緒に考えていきたい」という意味で「自分ごと」という言葉が使われているということも伝えることができる。

○委員

資料2の12ページ等に「農のプラットフォーム」とあるが、これは一般的な言葉なのか。

○事務局

令和3年度ごろから、都市計画課、産業振興課、みどり公園課が中心となって、減少している都市の農地を保全・活用できないかという検討が始まった。大学連携から始まったものであり、シンポジウムの開催など、市民を巻き込んで検討している。

農のプラットフォーム自体は、情報をやり取りするネットワークを構築し、令和5年の2月に始まったものである。これから実際どのようなことができるのか、市民、企業、大

学などが、お互いに情報をやり取りするという取組を行っている。市が中心となっていくということではなく、生産者も含め、様々な主体が協力して進めていくものである。

○会長

庁内を横断して、産官学の連携ということだと思うが、具体的にはどのようなことをしているのか。

○事務局

市を介さずとも情報のやり取りができるようなものではあるが、まだ具体的な取組はできていない。これは次の段階であるが、例えば、大学の研究で必要な農地を生産者から借りる際に、その2者をつなぐことができるのではないかと考えている。

○委員

「SDG s」という表記があるが、「s」が「G」から離れてしまっている。「Sustainable Development Goals」というように、「Goal」の複数形の「s」であることが分かるよう、「s」は「G」にくっつけてほしい。

○委員

資料1の99ページ、最後の辺りに「方策」という言葉があるが、どういうものを指しているのか。

○事務局

表現として使用しているが、適切か確認する。

○会長

先ほど、市長が市民と一緒に計画を作り上げているということ表現してほしいという話があった。そのような意味でいうと、市民の権利、存在を大事にし、市民参加を色々な場面でうたっていると感じた。西東京市の子ども条例を見たが、素晴らしいものだった。国連の児童の権利に関する条約に基づいており、課題意識も全て網羅していた。

市民が存在して参加するという点が、子ども条例だけではなく、総合計画でも具現化されているということが伝わってほしい。総合計画の中に、西東京市子ども条例についての文は含まれているか。

○事務局

資料1の78ページ、「現状と課題」の下から2つ目の段落に記載している。

○委員

産業について、現状は、廃業になってしまったり、事業承継が上手くいっていなかったりしている。この問題解決について力を入れていくことを書いてあり、市民に伝えることができる。感謝したい。

○委員

施策のページの各所に「調整中」とあるが、答申の際もこの状態のままか。

○事務局

議決の範囲としては資料1の1ページから23ページと各論の施策目標までのため、ご指摘いただいた箇所は「調整中」のままである。

議題3 その他

○会長

ここまで委員の方からいただいたお題、特に資料1の4ページに関して、事務局で検討し、メールで確認するという流れになる。その後、8月7日の最終の審議会で諮りたい。次回は答申だが、最終確認をした上で、答申という流れでよいか。

○事務局

基本理念についてはメールで修正案を事前にお送りする。次回の審議会では最初に最終的な案を確認いただき、その後答申となる。

○会長

次回の審議会で微修正が発生しても問題はないか。

○事務局

なるべく、メール等での事前の確認をお願いしたい。

○事務局

8月7日（月）の次回の審議会では答申いただき、9月の議会で議決を予定している。本日のパブリックコメントの回答については再精査させていただく。
修正案に対するご意見に関しては、まずはメールでお送りし、対応させていただきたい。当日は時間をとって、修正した点について確認する。本日欠席の委員にも意見をいただきたいと考えている。

○会長

第16回西東京市総合計画策定審議会を閉会する。

(閉会)